

2013/07/30(火)15:30

授業コード	81Q16
授業科目名	パブリック研究プロジェクトI (17)(前)
担当者名	渡邊敏生(ワタナベ トシオ)
単位数	6
開講期別	2013年度 前期
曜日・時限	木曜4限 木曜5限 木曜6限
特記事項	
オフィスアワー	
講義の内容	<p>本プロジェクトはマクロ経済学の視点から日本経済を分析していく。といっても、マクロ経済学のテキストを読むことは最小限にとどめ、データ分析やフィールドワークを通して日本経済の現状を感じたり、より詳細な分析を行っていく。</p> <p>データ分析では、日本経済に関する基礎的なデータをダウンロードし、1年生の時に学んだマクロ経済学の基礎を復習しながら分析を行っていく。また、フィールドワークでは、商店街などに出かけて景気状況について調べる。</p> <p>最終的には、各グループでテーマを見つけ、理論の知識とデータ分析を織り交ぜた説得力のあるレポートを作成する(プレゼンも行う)。「頭と体を使って日本経済を知ること」、これが本プロジェクトのテーマである。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 興味のある経済事象について、適切なデータを集め、整理することができる。 2 理論の知識とデータ分析を融合させ、詳細な経済分析ができる。
講義方法	講義(もしくは輪読)と演習(データ分析)をセットにして、バランスよくやっていく。講義(輪読)では、レジュメや「経済学入門」で使用したテキストを使用する。データ分析については、毎回、その場でパソコン操作をする。また、フィールドワークの行き先は、プロジェクト参加学生と相談しながら決めていく。
準備学習	事前に「経済学入門」の復習をしていると良い。また、プロジェクトが始まると宿題等を課すので、必ず期日までに仕上げること。
成績評価	毎回の取り組み姿勢 45% 最終報告(レポートおよびプレゼンテーション) 55%
欠席基準	授業実施回数数の3分の1(端数は切り捨て)以上を欠席した場合は、単位を修得することができません。(「欠席」評価となります。)
講義構成	<ol style="list-style-type: none"> 1) 講義(輪読)と演習(データ分析) 90分×2コマ×15回 2) フィールドワーク及びグループワーク 90分×1コマ×15回
教科書	第1回目の時間に紹介する。
参考書・資料	
講義関連事項	
担当者から一言	<p>本プロジェクトでは以下のような学生を歓迎する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 経済学にアレルギーがない学生。「経済学入門」の講義を聞いて面白いと思った学生。 2 将来の自分のために、お金や時間を使うことができる学生。 3 課題を地道にこなしていける学生。コツコツ学習する学生。 4 挨拶ができる学生。礼儀を知っている学生。 5 朝・昼・晩の3度の食事をきちんと取っている学生。 <p>逆に、本プロジェクトでは、以下のような学生を歓迎しない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 勉強で常に「手を抜くこと」「楽をすること」を考えている学生。横着をする学生。 2 自分の能力とはかけ離れた「野望」を持っている学生。
その他	本プロジェクトは、経済学のフレームワークで社会・経済を分析します。担当教員に経営学の知識を求めても無理です。推薦図書などは1回目の講義で紹介する予定。
ホームページタイトル	
URL	